

「学区はひとつの家族です」

瑞穂区弥富学区

震災避難行動マップ

地域の避難先の例

各町内会で安否確認を行い、必要があれば、下記の避難先へ避難しましょう。

- 弥富ヶ丘南部、弥富ヶ丘北部、西玉水、東中根北部、日向町、山下 → 弥富小学校へ避難
- 市丘町二南、市丘町二北、市丘一、松園東、松園西、釜塚一、釜塚二、片坂・軍水 → 萩山中学校へ避難
- 岳見四、岳見、岳見北部、東玉水、中玉水 → 県立昭和高等学校へ避難
- 下山西南 → 弥富コミュニティセンターへ避難

※安全を第一に考え、災害の状況に応じて臨機応変に行動しましょう。

指定避難所一覧	
番号	名称
①	弥富小学校
②	萩山中学校
③	県立昭和高等学校
④	弥富コミュニティセンター



地域の危険箇所

避難をする時は、下記の危険箇所に注意しましょう。

- 1. 空き家**
建物の老朽化が進んでいると倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり
- 2. 古いブロック塀**
大きな地震では倒壊する危険があるため近づくない
- 3. 狭い道**
近くの家が倒壊した時、道が塞がって通りになる可能性あり
- 4. 急な坂道や階段道路**
震災時には移動しにくく、崩壊しやすいので、避難路としては適さない
- 5. 電線(高圧線)**
切れた電線は感電の危険があるので、絶対に近づくない。また、高圧線の落下にも注意
- 6. 鉄塔**
一定の耐震性を有しており、過去の大規模地震でも地震動による倒壊はなかったが、万が一の倒壊に注意

地域防災協力事業所一覧

番号	名称	
①	株ホンダカーズ愛知瑞穂店	資器材(パール・ジャッキ)の貸出
②	トヨタカローラ名古屋瑞穂山下通店	資器材(パール・ジャッキ)の貸出
③	株ベネッセスタイルケア ボンセジュール瑞穂運動場東	災害用マンホールトイレ、災害時用かまど及びAEDの提供

凡 例

指定避難所：家屋の倒壊などにより被害を受けた方、あるいは被害を受けるおそれのある方を一時的に滞在させるための施設。	
広域避難場所：主として地震火災が延焼拡大した場合に、周辺地域の避難者が身を守るための空間を有している公園等。	
地域防災協力事業所	応急給水施設
災害応急協力戸(一般)	災害応急利用(事業所)
WC	下水直結式仮設トイレ
土砂	土砂災害(特別)警戒区域
公衆電話	AED設置場所

【禁無断複製】 © 2022 ZENRIN CO., LTD.

この地図は、名古屋市の承認を得て、名古屋都市計画基本図(平成27・28年度)を使用して作成したものです。承認番号 令和3年 第52号
JIS Z 8210 広域避難場所 避難所(建物) AED 指定緊急避難場所・指定避難所の指定について(ナゴヤ避難ガイド)、名古屋市、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示4.0 国際

作成:瑞穂区弥富学区 作成支援:瑞穂区役所・瑞穂消防署 令和4年8月発行

瑞穂区弥富学区 災害時の特性と対策

- 南海トラフ巨大地震が発生した場合、**震度6強ないし震度6弱**の激しい揺れが予想されます。まずは身を守りましょう。
- 怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策をしましょう。
- 一部の地域で液状化現象が起こる可能性が高い箇所があります。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなるおそれがあります。無理に通行しようとせず、迂回しましょう。
- 土砂災害（特別）警戒区域に指定されている箇所では、**土砂崩れ**の危険があります。

- **急な坂道や階段通路**は、震災時には移動しにくく、崩壊しやすいため、避難経路としては適していません。
- 揺れがおさまった後、自宅が被害を受けたかまたは受けるおそれがある場合は、指定避難所などへ避難しましょう。
- これらのことを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

学区はひとつの家族です

地震発生！ 震災時の対応

揺れた

●身の安全の確保

- ・頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- ・安全に消せる場合は火を消す
- ・家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

丈夫な机がない時は、クッション、かばん、ナベなど身近にある物で頭を守りましょう

安全にすばやい避難行動をとるためにも、**自宅の耐震化や家具転倒防止対策**は日頃からしっかり進めておきましょう



揺れがおさまった

- コンロやストーブなどの火を消す。万が一火が出たら初期消火
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- 怪我をしないように靴やスリッパをはく
- 出入口の確保
- ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 非常持出品の準備

地域には、町内会・自治会単位に結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救出救護等の活動を行います。地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力をお願いします



災害の危険解消
自宅での滞在が可能か



在宅避難



避難先へ

◆自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を！

避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける“在宅避難”を考えましょう。その際は、下記のことを心がけましょう。



本部に在宅避難を知らせよう！



周辺で声かけし、食料や物資を分け合おう！



周辺に高齢者や障がいのある方などが取り残されていないか確認しよう！

◆避難先へ安全に避難するためのポイント

- ① ガス・水道の元栓を閉め、ブレーカーを切る！



- ② 近所への声かけ！



- ③ 高齢者や障がいのある方などの避難誘導を！



- ④ 原則徒歩で！（渋滞抑止・高齢者や障がいのある方などの避難を妨げない）



- ⑤ 二次災害に気をつけながら消火・人命救助の手伝いを！



○震災以外の台風・大雨など災害が発生するおそれがあり、避難指示などによらず、自主的に避難しようとする場合には、事前に区役所へ連絡し、避難先などの確認を受けてください。

名古屋市災害対策本部・瑞穂区本部（瑞穂区役所）
TEL/841-1521（代表）852-9212～7（ダイヤルイン）
FAX/851-3317

指定避難所
連絡先一覧表

区分	施設名	電話
指定避難所	弥富小学校	831-8134
	萩山中学校	831-6341
	県立昭和高等学校	831-6326
	弥富コミュニティセンター	833-0225